

福寿園

2019年春一番新茶の初摘み〜一足早く！新緑の息吹をお届け
3月22日(金) 京都府木津川市相楽台



「福寿園」(京都府木津川市、福井正興社長)は3月22日、本格的な宇治茶の新茶シーズンに先駆け、例年実施している「新茶初摘み行事」を、『福寿園CHA遊学パーク』(関西文化学術研究都市内)の茶園(温室)で行った。

新茶の品質については、「今年は、栽培方法を少し工夫したことで芽吹きが一齐にきれいに揃い、生育も深い緑色で特に品質の良い美味しいお茶に育った」としている。

初摘み行事の目的は、新緑の伊吹「新茶」の香りを一日も早くお客様にお届けすると共に、発育状況、加温による促成栽培や被覆による優良茶の研究、緑茶生産技術の向上を目指している。

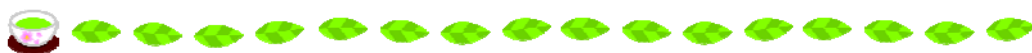
当日は、伝統的な茶摘み娘による茶摘み風景を再現し、やわらかくみずみずしい新芽を丁寧に取り摘みで収穫。製茶された『春一番新茶』は翌日には、京阪神の百貨店で販売。

《栽培茶園の概要》

- ▽栽培面積 約300㎡
- ▽栽培方法 点てき給液方式
- ▽栽培品種 さまじり 12年生
- ▽保温 1月18日より茶園ビニール被覆(パイプハウス型)
- ▽加温 2月1日より十分な灌水と室温最低約8℃に加温
- ▽萌芽 2月13日
- ▽予想数量 生葉60kg 製茶後9kg
- ▽商品名 春一番新茶
- ▽内容 15g
- ▽標準売価 2,000円(税抜)
- ▽商品は3月23日より京都地区の福寿園店舗から順次、販売予定。
- || 一般茶園の生育状況 ||
- 12月〜2月の気温は、平年より高く経過した。3〜4月もやや高温が予想されており、これからの実際の気温と雨量の推移に大きく影響を受けるものの、萌芽は平年よりやや早まると予想される。今後の気象の推移によっては、新芽生育期に凍霜害を受ける可能性もあり、例年通りの防霜対策を行うことが必要となる。

【参考】

萌芽日は、昨年4月3日(平年4月5日・京都府茶業研究所データ)、摘採の目安は萌芽日の翌日から数えて30〜35日目。今年の露地の摘採が例年通りとすると、今年の茶摘みは約40日早いことになる。



福寿園 新業態カフェが京都駅に！ 新ブランド店舗「茶寮FUKUCHA」4/3(水)オープン!!

京都・福寿園は、伝統ある宇治茶の気軽な体験と新しい可能性を提案する新ブランド「FUKUCHA」を立ち上げ京都駅に4月3日新規オープンする。本格的な宇治茶はもちろん、新感覚のハーブティーのほか、見た目も鮮やかな菓子・スイーツをイートインやテイクアウトで楽しめ、お茶を淹れるパフォーマンスやお茶にあったスイーツのペアリングを体感できるカウンター席も用意している。

《主な内容》

- ▽店名=茶寮FUKUCHA
- ▽住所=京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル 東塩小路町901 京都駅ビル 中央口2階
- ▽電話番号=075-744-0552
- ▽営業時間=午前8時30分〜午後9時
- ▽開店日=2019年4月3日 (水)



タイハン特報、見本紙・定期購読・メール配信のお申込みは、ネット又はお電話で
06-6714-0181 <http://e-taihan.net/>